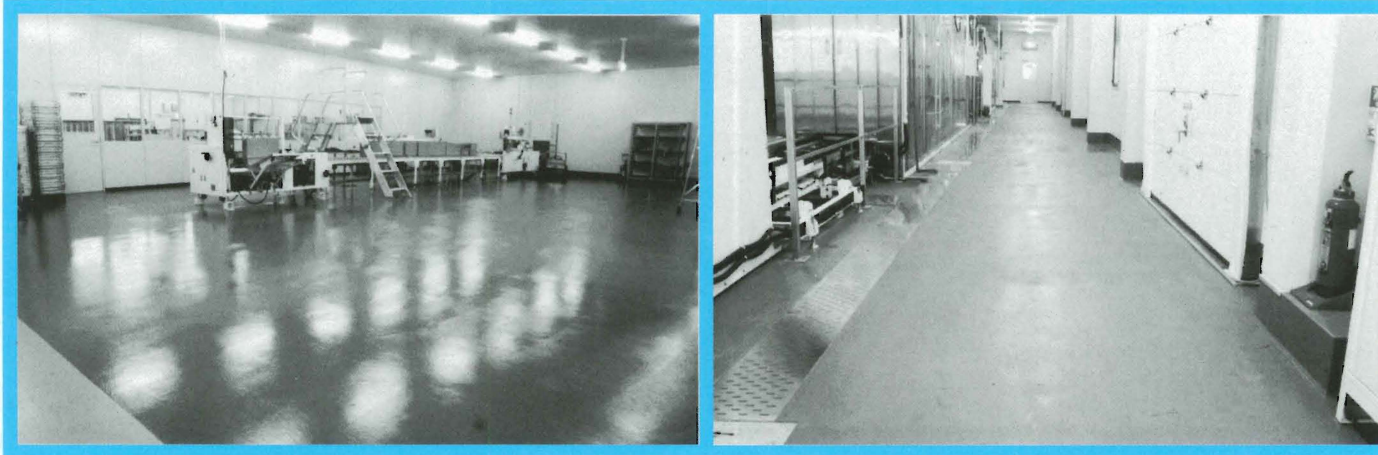


環境をクリエイトする床用塗料

アクアクリーンU[®]

非トルエン・キシレン塗料
NTX 2液 無鉛
水性ウレタン

水性塗料の特長である取り扱いの安全性に加えて、無鉛タイプ、速乾タイプ、低臭性により、人にやさしい環境を作ります。
事務室、工場、店舗などのコンクリート床面の美化、保護、防塵、カラー化に最適です。



特長

- ① 広範囲な既存塗膜にプライマーなしで塗装できます。
- ② 水性塗料なので低臭です。
- ③ 二液タイプながら速乾性です。
- ④ 一液アクリル塗料に比べ耐汚染性、耐摩耗性に優れています。
- ⑤ 無鉛タイプで、環境にやさしい。
- ⑥ 火気に対する心配がありません。

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03055
ホルムアルデヒド	F☆☆☆☆
放散等級	

用途

- ① 環境対応を目指す工場の塗装。(無鉛・水性)
- ② 火気があり、溶剤タイプの塗料が使えない工場床、臭気を嫌う工場。
- ③ マンション、商店など溶剤臭が嫌われる場所。

標準色・内容量・塗り面積

標準色 12色(クリアー含む) (別刷カラーサンプルを参照してください。)

製品名	内容量	塗り回数	塗り面積
アクアクリーンU	16kgセット(主剤15kg・硬化剤1kg)	2回塗り	40~55m ²
アクアクリーンU (受注生産)	4kgセット(主剤3.75kg・硬化剤0.25kg)	2回塗り	10~13m ²

既存塗膜の塗装仕様

サンディング後直塗り可能	#1400、#5000、#5200、#5400、#8000、#8500、#8500速乾、エポワン、エポクリーン、クイックアンダー、アクアクリーンU、他社一液アクリル製品 (※アスファルト素地には適しません。)
サンディング後 #500油面プライマーA材塗布	#7000+マークレス、#7000

※一部付着しにくい既存塗膜がありますので、事前にご確認願います。

可使時間(ポットライフ)と硬化時間

気温	10℃	20℃	30℃	※可使時間を越えた材料は、物性が著しく低下しますので使用しないでください。 ※硬化時間は、風通しが悪いと長くなります。
可使時間	5時間	3時間	1時間	
歩行開放時間	6時間	4時間	2時間	

アトミクス株式会社

塗料事業部

〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1 TEL.0480-65-1233(直通) FAX.0480-65-1161

本社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3111(代表) FAX.03-3968-7300

アクアクリーンU

施工仕様例

新設コーティング工法 E-UWS-I

工程	製品名	希釈量(重量%) (水)	塗布量 (kg/m ²)	施工方法	塗装間隔 23℃(時間)
1	下地処理	—	—	・コンクリート打設後、4週間以上経過している事を確認し、含水率を確認します。下地のサンディング処理は必ず行い、素地に付着しているレイトランス、ごみ、油なども除去します。	—
2	下塗り	—	0.15~0.2	・主剤：硬化剤を6kg:6kgの割合で混合し、電動攪拌機にて十分に攪拌してください。更に、骨材を3.2kg加えて骨材のダマが無い様に電動攪拌機で良く分散させてください。塗装はローラーばけ、はけ等にて行ってください。	3~24
3	中塗り	0~5	0.15~0.2	・主剤、硬化剤を15:1(重量比)で電動攪拌機にて攪拌混合し、ローラーばけ、はけ等にて塗装します。	4~48
4	上塗り	0~5	0.15	・主剤、硬化剤を15:1(重量比)で電動攪拌機にて攪拌混合し、ローラーばけ、はけ等にて塗装します。	—

既存塗膜塗り替えコーティング工法 E-UWO-I

工程	製品名	希釈量(重量%) (水)	塗布量 (kg/m ²)	施工方法	塗装間隔 23℃(時間)
1	下地処理	—	—	・既存塗膜をポリッシャーサンダー(#100のメッシュまたは#100程度のペーパーを使用)等により全面サンディングします。	—
2	下塗り	0~5	0.15~0.2	・主剤、硬化剤を15:1(重量比)で攪拌混合し、ローラーばけ、はけ等にて塗装します。	4~48
3	上塗り	0~5	0.15	・主剤、硬化剤を15:1(重量比)で攪拌混合し、ローラーばけ、はけ等にて塗装します。	—

クリーナー工法 UWS-C

工程	製品名	希釈量(重量%) (水)	塗布量 (kg/m ²)	施工方法	塗装間隔 23℃(時間)
1	下地処理	—	—	—	—
2	プライマー	—	0.1~0.15	無希釈のままローラーばけ、はけ等にて塗装します。	3~24
3	下塗り	0~5	0.12~0.15	主剤：硬化剤=15:1(重量比)で混合。電動攪拌機で十分に攪拌し、ローラーばけ、はけ等にて塗装します。	4~48
4	上塗り	0~5	0.12	主剤：硬化剤=15:1(重量比)で混合。電動攪拌機で十分に攪拌し、ローラーばけ、はけ等にて塗装します。	—

※標準仕様プライマー アトム水性エポプライマー 15.2kgセット(主剤6kg、硬化剤6kg、骨材3.2kg)

※塗装間隔は最短時間と最長上塗り可能時間です。

※クリーナー工法はコンクリート素地の風合いを活かした仕上げとしてご利用頂けませんが、コンクリート表面状態によりシーラー及び上塗りの吸込み状態が異なり不均一な色目になる可能性があります。プライマーは、ベストシーラーK(16kg、4kg)を使用してください。

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- (1)5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- (2)降雨・降雪・高湿・高温時及びそのおそれがある場合にも、塗装を避けてください。
- (3)下地調整は塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様例等を良くお読みの上、充分注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- (1)下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2)塗装中は、換気を良くしてください。
- (3)二液性塗料の計量、混合攪拌は、はかり及び電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- (4)塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後にはかりを使用して計量、混合してください。
- (5)プライマーにベストシーラーKを使用する場合、塗装用具は他の塗料が残っていないものを使用してください。他の塗料が混入すると異常(刷毛の固まり、塗料のゲル化、固まり等)が生じるおそれがあります。

3. 塗装(施工)後の注意

- (1)湿度が高い時、気温が低い時は乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- (2)養生時間 歩行開放=4時間 重量物開放=24時間(気温23℃・湿度50%)
- (3)塗装用具などを洗浄した水などを、河川や湖沼へ流したりしないようご注意ください。
- (4)残った塗料は、蓋を完全にし、直射日光や-5℃以下の場所を避けて保存してください。

4. 塗装面別の注意

- (1)新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。素地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に素地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、素地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。
(ケット水分計 HI-520 で測定した場合の水分量が Dモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安にする)
- (2)既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)
- (3)風化したコンクリート、雨に打たれたり凍結により強度のないコンクリートの場合にはご相談ください。

5. 全般的注意

- (1)製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項及び MSDS(製品安全データシート)をよくお読みください。
- (2)改良の為、①製品の中身、仕様 ②書類や販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (3)当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (4)製品本体及び当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。また、使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社までお問い合わせください。